

ゲイターズジャパン
株式会社インターマーケット
〒651-1411兵庫県西宮市山口町名来1-16-3
TEL:078-595-8115 FAX:078-904-0839

新商品「マローダー」販売開始のご案内

謹啓
仲秋の候、貴社ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、GATORZ EYEWEAR新作フレーム「MARAUDER(マローダー)」が日本発売となります。



米特殊部隊グリーンベレーの始祖となった「メリル・マローダーズ」に因んだ名を冠した「マローダー」。

A7075超超ジュラルミン素材の強靱性を活かし細く仕上げたテンプル、広い視野を確保する大きなレンズ径が特徴の8ベースモデルです。

「レンジでも仕事でも、常に携行できるエブリデイキャリアアイウェア」として、普段使いからお仕事・週末のアドベンチャーに1本で対応できる万能モデル。

ANSIz87.1全面適合、更に最新MIL-PRF-32432A耐衝撃性まで持ち合わせた上位機種も展開。

安全性・機能性・スタイルを求めるアクティブな日本人の皆様へ自信をもっておすすめしたい充実仕様の本モデル。機能もスタイルも諦めないGATORZの技術を結集した、最新アイプロテクション製品を是非お試しください。

ANSI Z87+ MILSPEC BALLISTIC 「MARAUDER」

販売開始

ゲイターズ公式サイト通販：10/7(金)正午～
正規取扱店様での販売＝随時

展開商品：11商品

ANSIz87+ Milspec Ballistic 3商品
STANDARD 8商品

8ベース
フレーム

ロング
ノーズ
標準

セラコート
標準
*1sku除く

Milspec
クリア、スモーク
調光は防曇

Milspecは
メタルケース
同梱

マローダー 展開商品

GZ-12-031

Marauder, Matte Black, Anodize, Silver, Smoke

マローダー ブラック/シルバーロゴ×スモークUVレンズ

¥24,200 (税込希望小売価格)



GZ-12-410
Marauder, Black, Cerakote, Blackout, Smoke Polar
マローダー セラコートブラックアウト×スモーク偏光レンズ

12月入荷予定

¥31,350 (税込希望小売価格)



GZ-12-420
Marauder, Black, Cerakote, Silver, Smoke Polar
マローダー セラコートブラック/シルバーロゴ×スモーク偏光レンズ
¥31,350 (税込希望小売価格)



GZ-12-424
Marauder, Black, Cerakote, Silver, Silver Mirror Polar
マローダー セラコートブラック/シルバーロゴ×クロームミラー偏光レンズ
12月入荷予定 ¥33,000 (税込希望小売価格)



GZ-08-422
Marauder, Black, Cerakote, Silver, Green Mirror Polar
マローダー セラコートブラック/シルバーロゴ×グリーンミラー偏光レンズ
¥33,000 (税込希望小売価格)



GZ-12-421
Marauder, Black, Cerakote, Silver, Blue Mirror Polar
マローダー セラコートブラック/シルバーロゴ×ブルーミラー偏光レンズ
¥33,000 (税込希望小売価格)



GZ-12-415
Marauder, Black, Cerakote, Blackout, Gold Mirror Polar
マローダー セラコートブラックアウト×ゴールドミラー偏光レンズ
¥33,000 (税込希望小売価格)



GZ-12-413
Marauder, Black, Cerakote, Blackout, Sunburst Mirror Polar
マローダー セラコートブラックアウト×サンバーストミラー偏光レンズ
¥33,000 (税込希望小売価格)

GZ-12-402

Marauder Ballistic, Black, Cerakote, Blackout, Clear

マローダー バリスティック セラコートブラックアウト×クリアレンズ

¥35,200 (税込希望小売価格)

ANSI Z87+ MILSPEC BALLISTIC



GZ-12-401

Marauder Ballistic, Black, Cerakote, Blackout, Smoked

マローダー バリスティック セラコートブラックアウト×スモークUVレンズ

¥35,200 (税込希望小売価格)

ANSI Z87+ MILSPEC BALLISTIC

12月入荷予定



GZ-12-404

Marauder Ballistic, Black, Cerakote, Blackout, Inferno

マローダー バリスティック セラコートブラックアウト×インフェルノ調光レンズ

¥41,800 (税込希望小売価格)

ANSI Z87+ MILSPEC BALLISTIC



ANSI Z87+ MILSPEC BALLISTICには別途、

セラコート3色(ガンメタル、タン、ODグリーン) 12月リリース予定

BASE 8



マローダー 共通 製品情報

- 8ベースフレーム
- ロングノーズピース標準装備



マローダー ANSIZ87+ミルスペックバリステック 共通 製品情報

- 米工業規格ANSIZ87+光学性能適合
- 米軍事規格ミルスペックバリステックテスト適合
(MIL PRF 32432A, Clause 4.8.4 Ballistic Fragmentation Protection)
- 撥水/撥油コーティング標準
- 防曇コーティング標準
- メタルケース標準



EVERYDAY CARRY



AT THE RANGE



ON THE JOB



MARAUDER



GATORZ
AMERICAN EYEWEAR

不屈の戦士をイメージした最新「MARAUDERマローダー」

我々ゲイターズは、戦場で過酷な任務に就く方々の使用に耐え得る製品、また屋内外での日常生活、ライフスタイルそのものに貢献できる商品の開発を目指して参りました。そしてこの度、その硬軟両面を兼ね備えた最新フレーム「マローダー」をここに自信を持ってお勧めできることに、改めて誇りを感じております。マローダーはオールメタルフレームの強靭性はそのままに、戦場での過酷な使用は勿論、週末の旅などの日常生活での使いやすさにも配慮し、その両立を達成したモデルとなりました。

製品名の「マローダー」はグリーンベレーで有名な、アメリカ陸軍の特殊作戦グループ・空挺部隊の原点の一つとなった第5307混成部隊「通称メルル・マローダーズ(メルル襲撃隊)」に因んだものです。フランク・メルル陸軍大佐率いるこの部隊は、第2次世界大戦時のビルマ(現在のミャンマー)北部において、ジャングルの過酷な環境下で日本陸軍と激戦を繰り広げた伝説の部隊です。彼らは日本軍前線を越えて後方に侵入し、偵察・補給阻止活動などを行う特殊作戦部隊として活躍しました。この長距離浸透戦術が後のグリーンベレーへと繋がっています。ミートキーナ攻略戦における激戦の末、壊滅的な損害を受けながらも最後まで作戦を全う。作戦終了後、部隊は解散し、伝説の存在となったのです。

極めて過酷な戦場を戦い抜いた彼らの戦闘行動は、第2次世界大戦を戦った米軍兵士の中でも卓越したもので、その行動は緻密であり厳格なものでした。それらの要素を設計に込めて「マローダー」の名を冠したこの新たなフレームは、あらゆる状況・どのような職務に対しても皆様と共にあります。

マローダーは、GATORZのANSIz87.1/MILSPEC Ballisticコレクションの中でも最も細いテンプルが特徴的な、軽量デザインです。DELTAほどスクエアではなく、WRAPTORほどスマートでもない、その中間に行くマローダーは、あなたのキットの中でその地位を確立していることでしょう。お好みのカラーとスタイルのマローダーをまとい、フィールドでお会いしましょう。

「メルル・マローダーズ」米国陸軍第5307部隊と日系2世と日本軍

1943年(昭和18年)8月、ビルマ戦線では進攻した日本軍と英印軍の戦いが継続していました。アメリカは日本軍に遮断された中国蒋介石政権への物資支援ルート(北部ビルマ)の奪還を目指していました。その中で日本軍の後方への浸透擾乱作戦で戦果を上げた英軍「ウィングート旅団」をモデルにした部隊を米軍でも編成する事が決定されました。翌9月に部隊の編成が始まり、ジャングル戦術の訓練を完了した2,500名を超える志願者が集まりました。これにガダルカナル島などでの実戦経験者に加え、また現地カチン族の協力者などを含め3,000名程で構成されました。そしてこの部隊には日系アメリカ人2世14名が含まれていました。彼らは日系人強制収容所から米国陸軍情報部に志願し、情報収集、通訳担当兵として配属されました。

1944年(昭和19年)2月に部隊は米軍では極めて稀な、徒歩による敵地での長距離移動を行いビルマに進撃しました。進攻部隊はインド残留の本部要員除く2,750名で編成されていました。3月ビルマ北部フーコン渓谷でカチン族ゲリラと共に日本陸軍の精銳、久留米第18師団(菊兵团)の補給線遮断作戦を行います。米軍式に訓練した中国軍との共同作戦は日本軍の包圍殲滅には至りませんが、打撃を与え、北部ビルマでの足掛かりを確保しました。

4月に入って部隊は残存兵力2,200名で、日本軍に占領された蒋介石支援ルートの拠点ミートキーナへの進撃を開始しました。途上日本軍との戦闘、物資運搬用のラバと共に2,000メートル級の山脈を越え、アマーバ赤痢などの悪疫の蔓延るジャングルを突破。

5月17日、攻略作戦開始。中国軍2個連隊(約6,000名)を指揮下に入れ、ミートキーナ郊外にある飛行場を占領した時点で、第5307部隊の残存兵力1,300名となっています。戦いはこの後さらなる激戦となります。日本軍守備隊は中国戦線から歴戦の福岡歩兵第114連隊(菊兵团)の700名を基幹とした総勢2,000名。北九州の小倉など炭鉱出身者が多く、ミートキーナに堅固な坑道式陣地を構成していました。

5月下旬以降、部隊は空輸による補給、航空支援を受けながら、攻撃を続けました。対する日本軍は敵中に孤立する中、巧みな防御戦闘で陣地を維持しました。米中連合軍による総攻撃時には、攻撃側が守備隊に逆包圍されるなど一進一退の激しい戦闘が続きました。

8月3日まで続いたミートキーナの激戦は日本軍残存兵力600名が撤退し、米中連合軍の勝利に終わりました。部隊は2か月以上に渡った激戦で272名の戦死者と955名の負傷者を出しました。また指揮下の中国軍は1,000名近い戦死者と3,000を超える傷病者を出しました。日本軍の戦死者は増援を含め2,100名となっています。両軍ともにマラリア、赤痢などに罹患しつつ戦闘が行われました。5307部隊ではビルマ進攻以降 病気で戦線から離れた者は1,000名に達していました。隊長のメルル大佐もマラリアによる心臓発作を2度も起こし後送されています。作戦終了後の8月10日、総員がすでに130名となった第5307混成部隊は解散することになりました。当初ビルマに進攻し戦った2,750名の中で病気にもならず、無傷ですんだ将兵は僅か2名しかいなかったという事です。米軍では異例の極めて高い損耗率を耐え抜いた部隊となりました。

彼らは5ヶ月間で1,210 km に及ぶジャングルの行軍、山脈越え、主要な戦闘5回、小戦闘32回、悪疫との戦いを経験しました。このような戦歴は米軍で唯一無二の部隊であり、隊員全員にブロンズスター勲章が授与されました。部隊解散後も彼らの生き残りは1945年(昭和20年)2月までビルマ北部での特殊作戦に従事しました。後に部隊の通称として「メルル・マローダーズ」を名乗り、その功績を偲びました。彼らの長距離浸透戦術、ジャングル戦の戦術は、後のグリーンベレーに引き継がれています。戦後、米特殊作戦界および諜報活動界の重鎮となったサム・ウィルソン退役中將は部隊の情報偵察小隊長でした。

戦後70年近く経った1992年にジョージ・A・マギー元第2大隊長が並外れた勇気を示した貢献者のみが選ばれる「レンジャー殿堂」入りの荣誉に輝きました。また、後のメルル准将より「君たちがいなければ、どうなっていたかわからない」と功績を認められた日系兵士の中からもロイ・H・マツモト氏、ヘンリー・ゴショ氏、グラント・ヒラバヤシ氏の3名が続いて「レンジャー殿堂」入りを果たしています。

近年では2019年改めて部隊の功績を称える勲章の法案が米国上院で可決、2020年には下院でも全会一致で可決されました。今も尚、彼らは伝説の部隊であり続けているのです。



GATORZ
AMERICAN EYEWEAR